



発行
米原市伊吹老ク連
編集
米原市伊吹老ク連
広報委員会
米原市伊吹老ク連事務局
TEL (0749) 58-1634

健康な老後を過ごしましょう



伊吹老ク連副会長 中村 隆法

春寒ゆるむ季節となりま
したが、まだまだ寒い日が
続いています。会員の皆様
方には、益々ご健勝のこと
とお慶び申し上げます。

平素は、伊吹老人クラブ
連合会の運営に、ご理解
ご協力を賜り厚くお礼申し
上げます。

会員の皆様二〇二五年間
題をご存知でしょうか。約
八百万人と言われる団塊の
世代（ちなみに私の世代で
もありません）が、七十五歳（後
期高齢者）を迎えるのが二
〇二五年です。現在一五〇
〇万人程度の後期高齢者人
口が、一気に約二二〇〇万
人まで膨れ上がり、全人口
の四人に一人は後期高齢者
という超高齢化社会になる
そうです。

今年の一月だったと思い
ますが、「全国老年協会」と
いうところから高齢者の定
義を六十五〜七十四歳を「准
高齢者」、七十五歳〜八十九
歳を「高齢者」、九十歳以上
を「超高齢者」に区分して
はどうか という提案がな
されました。

近年の高齢者の心身の健
康に関する種々のデータを
検討した結果、現在の高齢
者においては十〜二十年前
と比較して加齢に伴う身体
的機能変化の出現が五〜十
年遅延しており、「若返り」
現象がみられているそうです。
とは言うものの、現在でも、
認知症患者の増加や高齢者
による交通事故の増加が、
社会問題になっています。

こんな状況の中、伊吹老ク
連も今後ますます高齢化に
進んでいきます。

伊吹老ク連の諸行事は、
三大テーマ「健康」「友愛」「奉
仕」に添って行われています。
この三大テーマのなかでも、
「健康」が、第一です。私達
が毎日生活をする上で健康
でなければ何もできません。
友愛も奉仕も健康でなけれ
ばできません。

去年十一月に「寿ふれあ
い広場」が、開かれました。
その時、「医学知識を音楽に
のせて」と題して京都の鈴
鹿病院の鈴鹿先生の講演が
ありました。

皆様覚えていらつしやい



ますか？シンセサイザーに
よる音楽、アコーディオン
の音色と高血圧・コレステ
ロールのお話。そして最後
におっしゃった言葉。「掛か
りつけのお医者さん以外に、
健康診断又は人間ドックを
受けてください」治療中は、
掛かりつけのお医者さん
お任せして、治療中以外の
不健康な部分を見つけるの
が健康診断であり、人間ドッ
クです。自覚症状が出る前に、
予防し、健康な老後を過ご
しましょう。動けなくなつ
てからでは、遅いですよ。

伊吹老々連 各部会の活動を終えて



研修部会 部会長
児玉 正昭

県外一泊二日の研修を終えて二〇一七年、新しい年のスタートに入り皆さんお変わりありませんか。

研修部を担当して七年目も終わろうとしています。この間皆さんの温かいご協力ご支援を賜りましたお陰と心からお礼を申し上げます。人と人がつながり助け合うことで大きな輪になっていく、しかし社会の中で生きて来た私達にとって、習慣や環境のちがいをそして、自由な時間も持ちたいことにもわかりませんが、最近老人会に入会する人も少なくなりました。残念だと思ふ。

会に入つてその時間を生かし地域社会のため、高齢者が力を発揮することに一つの健全な生き方でもあり、高齢者こそ地域の主役になって、その豊富な経験と知識を持った高齢者のパワーを生かす機会でもあると思います。

昨年は研修部として変つ

た事業もありませんが、十月六、七日の一泊二日の県外研修は、前日の台風十八号の接近で心配しましたが幸い影響なく予定通りの実施となった。今回の実施に当たり各単クの会長さん初め皆々様方のご協力により六十六名の参加を頂きました。ここに厚くお礼申し上げます。

二台のバスは各地域の人を乗せて養老SAで合流し、高速道路を一路目的地山梨県へと向う、初日の景色は、おぎのや諏訪店ですませ、小淵沢チーズケーキ工房で試食、買物次に、武田神社に参拝、境内に入るとまさに戦国時代を感じる空間とも思われた。ここで全員写真を取り次の予定地ぶどう園に向い試食買物をすませ、今日の宿泊地石和温泉へとバスは走る。本日の行程も終り十七時頃石和温泉慶山に到着、従業員の案内で各部屋に別れていった。何を

言っても一日の疲れを癒やしてくれるのは温泉です。昭和三十六年石和温泉湧出温泉は川へ流れ青空温泉の誕生、井戸の掘削中に毎分千二百リの高熱温泉(四十九度)が吹き出る。昭和三十八年に石和ぶどう温泉観光協会が設立、昭和六十二年新日本観光百選にて三位になる。平成十四年には(六十七度)の新たな源泉が噴き出る。そして泉質はアルカリ性単純温泉、効能は神経痛、筋肉痛、関節痛、打ち身、慢性消化器病、その他疲労回復などとのことです。

楽しみの宴会は十八時頃から始まり、まず松井会長の挨拶、続いて今回参加者の一番高齢者の尾木輝雄さんの乾杯でスタート飲んで歌って交流を深め盛り上がる。中締を研修部の堀江信夫さん最後に毎年恒例となつている江州音頭を長谷善行さんの音頭で、宴会は幕となり各人部屋へと散った。十月七日天候も良く大勢の従業員に見送られて本日の見学地山梨県立リニア見学センターに向う山梨リニア実験線の走行試験の開始

に合わせて開館した県立の博物館施設と実験線での走行試験の様子を見学したり、写真におさめようと苦労したこと他に模型や各種の展示物等が紹介されていた。次の場所赤富士ワイナリーで試飲、買物後河口湖みはらし亭で昼食をすませ、石原水産でマグロ解体ショー身近かで見学、注文者も多く当たりつかない人がいるほどの人気でした。

二日間の日程は全て終り帰路に向う、道中近江トラベル社のご厚意でビンゴゲーム、また安全運転に気配り頂いた乗務員さんにお礼を申し上げます。

次回は、更に多くの方々の参加を期待しています。最後にご参加いただきました皆々様に無事に研修旅行が終りそのご協力に對し心からお礼を申し上げます。

寿ふれあい広場を終えて

十一月十七日、日に日に寒さが増す中、寿ふれあい広場を開催した所、一七〇名近いご出席を頂きました。皆々様のご協力のおかげとここに厚くお礼を申し上げます。

講演に先立ち松井会長の挨拶を頂き、つづいて、啓発ビデオによる、きづな町物語、内容は、高齢者の交通安全「作蔵さん交通安全に目覚めるの巻」、こんな交通事故故に注意と云うことで田園型事故、夜間の交通事故、危険な斜め横断による事故など、また高齢者の詐欺被害防止「春子さん危機一髪」オレオレ詐欺、還付金等詐欺、未公開株(社債)詐欺、ギャブル必勝法情報提供名目詐欺等のビデオの視聴で教えられた。皆さん詐欺には十分注意したいものです。

そのあと米原市金融機関防犯協議会米原郵便局野田局長さんの金融犯罪について、高齢者が運転操作誤り等により加害者となる事故も多く発生している運転も十分気を付けて頂きたいとお話をされました。ここで休憩を取った。

鈴鹿隆之先生の講演に入り、テーマは医学知識を音楽にのせて、先生は医学博士昭和五十六年京都府立医科大学卒業後、第二内科学教室に入局、京都府立医科大学助教授を務められたあ

と、日本バプテスト病院に八年間在籍、平成六年六月左京区田中大久町に鈴鹿内科医院を開業し現在は、一般内科として幅広く診療されています。大学では高血圧内分泌の研究をされていました。幼稚園の時から音楽が好きで、小学校の終わりまでピアノを習い、その後自己流で作曲演奏を行いキャンパスソングコンテスト作曲部門で二度にわたって入賞、更にNHKFMにも出演されています。紹介が終わると先生はアコーデオンをたずさえて客席からの入場、盛大な拍手で迎えられた。講演は多彩な楽器を使つての楽しく健康に関わる有意義なお話でした。

終りに健康に関する二人の質問が有り、最後にリクエスト曲「世界に一つだけの花」で先生の講演は盛大な拍手でお礼にかえて終わった。

閉会に対し中村副会長の挨拶で解散となった。



寿ふれあい広場

リニア見学センターと石和温泉の旅(河口湖畔)



優 勝 児玉 正昭
準優勝 筒井 正信
三 位 筒井 善之

第四十六回大会

優 勝 福永 傳一
準優勝 大城 昇
三 位 児玉 正昭

第四十五回大会

八月二日第四十五回夏季囲碁大会・三月一日第四十六回冬季囲碁大会を老朽連事務所で開催しました。参加者はそれぞれ十名の参加で、四局の対局をされました。結果については次のおりです。

囲碁大会の結果



保体部会
部会長

筒井 正信

三寒四温のこの頃、会員の皆様、ご健勝のこととお喜び申し上げます。さて保体部の事業も一年を通じて一人のけが人もなくすべての事業が終了できましたのも会員皆様のご協力の賜とお礼申し上げます。

顧みますと六月二日初夏

複合スポーツ大会から始まり晴天に恵まれ各種目に熱戦を展開されました。尚、各種目の上位チームが市老ク連主催の大会に参加されました。六月二十四日には、夏季ゲートボール大会が開催され九十一名参加者でした。年々参加チームが減少しているのが心配です。

九月二十七日長浜バイオ大学ドームにて米原市老ク連高齢者スポーツ大会が開催されました。代表選手役員の皆様ご苦労様でした。ゲートボールで杉澤チーム・また、ペタンク男子で伊吹チームが優勝されました。

十月十八日秋季グラウンドゴルフ大会が行われ、百三十四名が参加され皆さんに楽しんで頂きました。十一月九日ゲートゴルフが三年ぶりに行われました。ルールが皆様に十分伝えられず一部の人にご迷惑をかけたお詫び申し上げます。

二月二十二日から連日三日間に亘りゲートボール大会が開催されました。選手の皆様さんお疲れ様でした。三月三日にはスマイルボウリング大会が行われ、楽しんで頂きました。

最後になりましたが保体部会に所属された各単クの会長様には準備、後片付け等、大変お世話になりました。ありがとうございました。



夏季ゲートボール大会

平成 28 年 6 月 24 日 すば一く伊吹 参加 14 チーム

| 順位 | チーム名 | 勝 敗 | 得失点差 |
|------|-------|---------|------|
| 優 勝 | 上 野 | 3 勝 0 敗 | +26 |
| 準優勝 | 村 木 B | 2 勝 1 敗 | +13 |
| 三 位 | 春 照 A | 2 勝 1 敗 | +6 |
| 敢闘賞 | 大久保 B | 2 勝 1 敗 | +4 |
| 5 位 | 大久保 A | 2 勝 1 敗 | -1 |
| 6 位 | 村 木 A | 2 勝 1 敗 | -5 |
| 7 位 | 伊 吹 B | 2 勝 1 敗 | -6 |
| 8 位 | 杉 澤 B | 1 勝 2 敗 | +5 |
| 9 位 | 伊 吹 A | 1 勝 2 敗 | -2 |
| 10 位 | 春 照 B | 1 勝 2 敗 | -3 |
| 11 位 | 東 部 | 1 勝 2 敗 | -5 |
| 12 位 | 高 番 | 1 勝 2 敗 | -8 |
| 13 位 | 杉澤 A | 1 勝 2 敗 | -17 |
| 14 位 | 大清水 | 0 勝 3 敗 | -7 |



初夏複合スポーツ大会

平成 28 年 6 月 2 日 第一グラウンド

参加チーム数 グラウンドゴルフ 24 チーム
 ペタンク 男子 12 チーム 女子 10 チーム
 公式ワナゲ 男子 13 チーム 女子 17 チーム
 参加者 約 260 名

| 種 目 | 順 位 | 優 勝 | 準優勝 | 三 位 | 敢闘賞 |
|------------------|----------|-------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------|
| グラウンドゴルフ 打 数 | | 杉澤 A 260 | 上野 A 261 | 上野 D 263 | 上野 B 273 |
| | ペタ ンク | 男子 | 大清水 A 3 勝 0 敗 +23 点 | 村 木 3 勝 0 敗 +9 点 | 伊吹 A 2 勝 1 敗 +13 点 |
| 女子 | | 高 番 3 勝 0 敗 +12 点 | 大清水 2 勝 1 敗 +17 点 得失点率 2.2 | 村 木 2 勝 1 敗 +17 点 得失点率 2.1 | 伊吹 A 2 勝 1 敗 +15 点 |
| 公式 ワナゲ 得 点 | 男子 | 伊吹 B 397 | 大久保 A 296 | 高 番 286 | 上 野 279 |
| | 女子 | 大清水 251 | 伊吹 C 245 | 伊吹 D 228 | 弥 高 160 |

※グラウンドゴルフ (8 番)ホールインワン) (敬称略)
 泊 和男、児玉恭子、尾木輝雄、児玉正昭、福永栄造、
 筒井善之、村居雅晴、堀江昭子 (2 回)



ペタンク



ゲートボール優勝 杉澤チーム



バタンク男子優勝 伊吹チーム

米原市老ク連高齡者スポーツ大会

種目別結果 平成 28 年 9 月 27 日 長浜バイオ大学ドーム

| 種目 | 順位 | 1 位 | 2 位 | 3 位 | 4 位 | 5 位 |
|----------|-------|-------|-------|-------|------|-----|
| ゲートボール | 杉澤 | 上丹生 | 村居田 | 梅ヶ原 | 箕浦 | |
| 成績 | 3勝+27 | 3勝+23 | 2勝+23 | 2勝+8 | 2勝+2 | |
| グラウンドゴルフ | 新庄 | 米原B | 宇賀野 | 米原D | 上野C | |
| 成績 | 450 | 453 | 463 | 465 | 467 | |
| バタンク男子 | 伊吹 | 磯 | 大清水 | 村木 | 梅ヶ原 | |
| 成績 | 3勝+15 | 3勝+11 | 2勝+16 | 2勝+11 | 2勝+9 | |
| バタンク女子 | 世継 | 大清水 | 下丹生 | 日光寺 | 村木 | |
| 成績 | 3勝+24 | 3勝+21 | 2勝+21 | 2勝+8 | 2勝+8 | |
| ワナゲ男子 | 本郷 | 顔戸 | 大鹿 | 高番 | 伊吹 | |
| 成績 | 1,134 | 975 | 850 | 839 | 702 | |
| ワナゲ女子 | 母の郷 | 高溝 | 梓B | 梓A | 大清水 | |
| 成績 | 1,182 | 1,026 | 742 | 704 | 649 | |

冬季ゲートボール大会

平成 29 年 2 月 22 日～24 日 すばやく伊吹 参加 14 チーム

| 順位 | チーム名 | 勝 敗 | 得失点差 |
|------|----------|------|------|
| 優勝 | 伊吹A | 7勝2敗 | 30 |
| 準優勝 | 杉澤B | 6勝3敗 | 23 |
| 3 位 | 大久保B | 6勝3敗 | 14 |
| 敢闘賞 | 上野 | 6勝3敗 | 9 |
| 5 位 | 杉澤A | 5勝4敗 | 21 |
| 6 位 | 大清水 | 4勝5敗 | 0 |
| 7 位 | 村木 | 4勝5敗 | -4 |
| 8 位 | 春照 | 4勝5敗 | -4 |
| 9 位 | 伊吹B | 3勝6敗 | -16 |
| 10 位 | 大久保A | 2勝7敗 | -26 |
| 11 位 | オープン | 6勝3敗 | 12 |
| 12 位 | 東部(オープン) | 5勝4敗 | 2 |
| 13 位 | 弥高(オープン) | 4勝5敗 | 10 |
| 14 位 | 高番(オープン) | 1勝8敗 | -71 |

スマイルボウリング大会

平成 29 年 3 月 3 日
伊吹山麓青少年総合体育館 参加 30 チーム

| レーン | 勝者チーム名 | 勝 敗 | 得点 |
|-----|--------|------|-----|
| 1 | 春照A | 3勝0敗 | 128 |
| 2 | 上野A | 3勝0敗 | 73 |
| 3 | 大清水A | 3勝0敗 | 92 |
| 4 | 上野B | 3勝0敗 | 67 |
| 5 | 上野C | 2勝1敗 | 69 |
| 6 | 大清水C | 3勝0敗 | 78 |
| 7 | 高番C | 3勝0敗 | 90 |
| 8 | 藤川C | 2勝1敗 | 102 |

総合優勝 上野Bチーム

ストライク賞 伊賀並輝子 立澤 守
尾崎喜代一 中村 隆法
(敬称略) 児玉 正昭(2回) 堀江美代子

秋季グラウンドゴルフ大会

平成 28 年 10 月 18 日第1グラウンド 県立運動場 参加者 134 名

| 順位 | Aコース 71 名 | | | Bコース 63 名 | | |
|----|-----------|----------|-----|-----------|--------|-----|
| | 単ク名 | 氏 名 | スコア | 単ク名 | 氏 名 | スコア |
| 1 | 高番 | 大森 國 昭 | 36 | 伊吹 | 早川 弘 | 33 |
| | 上野 | 森 仙 八 | 36 | | | |
| 2 | 伊吹 | 岩崎 忠 義 | 36 | 伊吹 | 川崎 善 正 | 36 |
| 3 | 高番 | 藤田 佐 知 夫 | 36 | 弥高 | 藤 敦 勝 | 36 |
| 4 | 上野 | 吉川 春 子 | 37 | 上野 | 高橋 実 | 37 |
| 5 | 春照 | 田中 紀 子 | 37 | 上野 | 森田 清 志 | 38 |
| 6 | 上野 | 松井 賢 一 | 37 | 伊吹 | 堀川 和 子 | 38 |
| 7 | 春照 | 井澤 貞 郎 | 37 | 伊吹 | 堀川みす江 | 38 |
| 8 | 上野 | 森田 す み 子 | 38 | 大清水 | 尾木 芳 良 | 38 |
| 9 | 高番 | 藤田 忠 市 | 38 | 上野 | 堀江美代子 | 39 |
| 10 | 上野 | 高橋 鶴 代 | 38 | 伊吹 | 花房 静 子 | 39 |

※ホールインワン(3番)

岩崎忠義、岩山禮一、川崎善正、北川昌美、田中幸男、堀川和子、堀川みす江、丸本正一、森田すみ子

ゲートゴルフ大会

平成 28 年 11 月 9 日
第一グラウンド 参加者 122 名

| 順位 | 氏 名 | 1R | 2R | 計 |
|----|-----------|----|----|----|
| 1 | 岩山 禮 一 | 37 | 33 | 70 |
| 2 | 谷川 順 夫 | 39 | 31 | 70 |
| 3 | 藤田 忠 市 | 34 | 37 | 71 |
| 4 | 堀川 宏 | 34 | 38 | 72 |
| 5 | 谷川 信 治 | 35 | 38 | 73 |
| 6 | 川崎 善 正 | 37 | 37 | 74 |
| 7 | 伊富貴 寿 美 子 | 38 | 36 | 74 |
| 8 | 岩崎 忠 義 | 36 | 39 | 75 |
| 9 | 伊藤 保 之 | 45 | 31 | 76 |
| 10 | 長尾 龍 秀 | 45 | 31 | 76 |



女性部会
部会長

筒井 良子

二〇一七年も明け雪も少なく、新しい息吹を感じる穏やかな新春を迎えました。会員の皆様には、日々ご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

さて私こと昨年四月に女性部長という大役をお受けして、早や一年が過ぎ去ろうとしています。この様な重責をお受けして、一年無事に勤められるかどうか不安で一杯でしたが、皆様の暖かいご指導、ご協力のおかげで大過なく終えることが出来ました。本当にありがとうございます。

女性部会活動の一年を振り返ってみますと、先ず最初に〇女性部会友愛担当者合同会議。〇長浜農業高校へシクラメンの受納。〇シクラメンの配布準備。〇シクラメンの配布（友愛対象者の方）一四五鉢を訪問配布。〇女性部友愛研修会「いつまでも健康でいきいき」と題しましてNPO法人、日本健康運動指導士会滋賀県支部長の井花春美先生の講演が

ありました。先生は元気を過信しないで、今の元気をずっと維持していきましよう。そのためには自分にあつた運動を習慣づけ、身近な地域の人達とふれあいをもち乍ら、生涯を通じた趣味や学習も自分自身を成長させる。

そしてバランスのとれた食事をして、かかりつけの医師をもつていけると、どんな病気でも相談できると先生はお話しして下さいました。私も教えて頂いた楽しい運動を毎日取り入れ、自分の健康は自分で守り、いつまでも健康でいきいきと生活していけたらと願っております。本当に有意義で実りのある講演で大満足でした。その後で、友愛情報交換会があり皆さんの意見をお聞きして、心が自然と笑顔になりました。

これから増々高齢化が進む中で、人と人との絆を深めていくことも大切ではないのかなと痛感しました。友愛担当者の方には大変お

世話になりありがとうございました。この一年間無事に事業を終えることができ



福祉部会

相談役

中村 隆法

会員の皆様様には、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

平成二十八年度 福祉部会では、八月に草刈り等の環境美化奉仕作業。十一月に、女性部会と連携しての友愛訪問を計画してきました。各単ク会員の皆様そして本部役員の皆様のご協力のおかげで、計画通り終えることができました。御礼を申し上げます。感謝の気持ちで一杯です。

八月の草刈り等環境美化奉仕作業については、二十日の伊吹山中学校・いぶき認定こども園・伊吹小学校、二十一日の春照小学校と二日間に亘り暑い中、草刈りや木の葉刈り等を行いました。伊吹山中学校の生徒さん達にも手伝ってもらいきれいになりました。学校の先生方達にも大変喜んで頂きました。来年もぜひ宜

ましたのも、会員皆様のご支援、ご協力のおかげと心より感謝申し上げます。

しくとの言葉を頂きながら。十一月の友愛活動は、女性部会の皆さんと連携し、長浜農高の生徒さんが丹精込めて育てたシクラメンの花を各単クの女性代表さん・友愛担当者の皆さんで、該当者に配布して頂きました。来年度も福祉部会は、老ク連の三本柱「健康」「友愛」「奉仕」の活動を進めて行きたいと思っております。



友愛訪問シクラメン配布準備



単ク活動たより

一年を振り返って

上板並 睦会長

伊賀並 功

平年に比べると雪もなく、新しい年を迎えられたと思います。二十八年度活動も残り少なくなってきました。

上板並睦会事業計画を立てて会員数四十三人で事業

やっています。四月に始まり六月に国見林道の除草作業十二キロ余り。その後、一泊二日の親睦研修旅行、今年度は夕日ヶ浦温泉と伊

根の船泊見学。八月墓清掃、地藏盆。九月に睦会主催故人追悼法要。二月認定会。三月引継ぎ。四月、八月、十二月、三月、年四回の総

会后直会を行い親睦を図っております。本部老ク連の一泊二日の研修旅行ですが、一日目の武田神社見学、ぶ

どう園、その後温泉宿泊、夜の親睦宴会はいろんな会の方々と話し合い会のことなど聞き楽しみました。翌日は山梨県立リニア見学センターの見学(リニア中央

新幹線 2027 年開業!!)なるほどリニアは早かったです。本部研修部会役員方々には毎回旅行の行先には苦労されると聞いています。ごくろうさんです。私達上板並睦会も本部の事業に参加をしたいのですが年長の方が多いので本部の方々に申し訳なく思っています。本部理事会の中で話が出ていますように今後の会維持活動は深刻な問題であり頭を悩ませています。何か良い知恵をお願いします。さて早いもので本部老ク連の会長様始め役員様多くの方々の支援のお陰で終ろうとしています。上板並睦会の方々に四月から一年を通じて会員皆様方にご協力を頂いたことを心から感謝し、お礼申し上げます。もう少しですが頑張ります。

二年間を振り返って

上野堀西老人クラブ会長

堀江 信夫



何も分からないまま単クの役員を引き受け、やっていけるのだろうかと不安を持ちながらスタートしました。そして微力でこれといったことはできませんでしたが、皆様のご支援・ご協力を賜り、二年間の任期を終えようとしています。

その間、単クの活動や行事は先輩方のやってこられたことを踏襲してやってきました。しかし、やっているうちに課題も見えてきました。一つは単クの研修旅行

です。上野老人クラブでは一泊二日の日程で行うことが定着しています。そこで時期が来たので参加者の募集を始めたのですが、参加者の集まりがかんばしくなく、実施する最低人数を確保するのがやつとという状況でした。そのとき研修旅行は行き先と参加者を集めることが大きな課題であると感じました。これについては次年度の役員さんに委ねることにしたいと思っています。

もう一つは役員の人選です。上野老人クラブでは四名の役員が二年間務めることになっています。しかし、入会する人数が減ってきて、二十九年年度の役員に依頼は二十九年度に入会される方をお願いするしかないという状況になってしまいました。これについても今後早急に検討し、解決す

ることが必要であると考えます。課題を解決していくことは大変なことですが、ひとつひとつ地道に取り組んでいくことが大切だと思っています。次に、老ク連についてですが昨年度は保体部会員、今年度は研修部会員として活動させていただきました。保体部会では初めてのスポーツであるベタンク・輪投げ・スマイルボウリングなどを知り、経験することができたことは有意義であったと思っています。しかし、保体部会の事業は少々多すぎるように感じました。また、研修部会においての研修旅行は普段話せない人とも話しができ、楽しいひと時を過ごすことができよかったです。しかし、老ク連の研修旅行も単クの研修旅行と同様課題はあったと感じました。単クも老ク連も課題はありますが課題解決に努め、よりよい老人クラブになっていくことを願っています。



山梨県立リニア見学センターと石和温泉の旅
武田大橋太夫時信入道様を

いびき認定子ども園児との交流餅つき大会に参加して



春照老人クラブ会長

田中正紀

年初の一月十二日。いびき認定子ども園へ老ク連役員、始末有志で餅つき交流大会にお手伝いに寄せて頂きました。

今では各家庭でも餅つき器でつく時代。家族揃って餅をつくのは少なくなり、昔ながらの光景も、つく音も聞こえなくなり寂しさを覚えます。

今はなつかしい、うすと杵で、餅をつく行事を子ども園児と老人クラブ会員との交流する事の一環として、体験する事を通じてお互いが心豊かな絆づくりが出来るとの思いで計画されたと思っています。

男性は杵を持って餅をつき、女性は手返しを手際よく行い園児達の声に励まされ力いっぱい杵を降りおろして頑張る、途中から園児達一人づつに杵を持たせ、手助けしながら、ヨイシヨ、ヨイシヨ、と声を出し餅を仕上げました。出来上がった餅を見て子



ども達は喜びいっぱい。小さくちぎられたきな粉餅、しよゆ餅。つきたての餅と一緒に食べるのは本当に美味しいもの。「三つ四つ食べたよ」と答える園児はほほえましく、かわいい笑顔は何ともいえない素晴らしい事。お手伝いした私達は園児達から逆にパワーを貰い疲れも吹っ飛ばす思いで楽しく過ごさせて頂きました。これからも園児の皆さんの元気で健やかに成長されることを願っています。

春タワケの独り言



村木老人クラブ会長

北野和男

平均寿命が、男女ともに八十歳を超えています。団塊の世代が誕生した頃の昭和二十二年の平均寿命は、男が五十歳・女が五十四歳でした。七十年間で三十歳程長寿になりました。喜ばしいことです。今年の始まりには、最近の高齢者は元氣なので、「七十五歳からを高齢者」としたらどうか、との提言がありました。当

老人クラブの会員の多くの方は、当会の活動に元氣に参加していただいています。いかにも先の提言は、的を射ているかに思えます。

一方で健康寿命は、男女とも七十歳前半と言われています。平均寿命とは約十歳の開きがあります。健康と不健康との境界は曖昧です。不健康を願う人はいませんが、病院や介護施設で過ごす方も多数おられます。お見舞いに行ったり面会に行くのには、当然のように、自家用車を使います。五十年以上前（中学生時代）に

は、自分の車を自分で運転するなどとは、夢にも思いませんでした。今では、必需品です。昨年あたりから、テレビ等で頻繁に報道され始めました高齢ドライバーによる交通死亡事故。この事故件数は、最近の十年間では横ばいなのですが、死亡事故全体に占める比率が増加しています。

『ブレーキを踏んでも停車しなかった』・・・操作ミス？『横から急に車が来た。急には停まれん』・・・信号無視？技量の過信・視野が狭い・反応が遅い・思い込み等々、高齢者特有の原因が推測されるようです。

昨年四月から当会の会長に就任しました。会員皆様の協力により、ここまで来る事が出来ました。紙面を借りて御礼申し上げます。様々な技術や仕組みが進化するなか、会員ファーストの活動を展開できたのかは疑問です。残った課題の解決を、次期会長以下のスタッフに期待します。

編集後記

平成二十八年度、最後の広報、年輪を発行いたしました。

雪の方も年末から年始にかけては降らず、良い天候に恵まれ新しい年を迎えることができました。年が明け一月中旬頃に強い寒波の影響で、県北部を中心に大雪となり、米原市でも積雪を観測しました。

さて皆さんもご承知のように大相撲初場所で大関稀勢の里が初優勝し、紙面に大きく報道されました。そして横綱昇進が一月二十三日に確定され、第七十二代横綱となり、十九年ぶりに日本出身の横綱が誕生しました。今場所は精神力も増し、先代の親方の指導を忠実に守り続けた結果だと思えます。今後は怪我をしないように心掛け、頑張っほしいと思います。今年度の事業も皆様の暖かいご支援、ご協力により、お陰様で終りを迎えようとしております事を心から御礼申し上げます。

松井重廣